

わたしたちの町 堀江・新町周辺の地理と歴史

難波場の魚市跡

昭和六年の大阪中央卸売市場開場によりその幕を閉じるまで300年に渡って天満の青物市、堂島の米市と並び大阪三大市場として栄えていた。

薩摩堀公園

「薩摩堀川跡」の碑がある。薩摩堀川は1628年に薩摩屋仁兵衛が削った人工の運河。

薩摩藩蔵屋敷跡

薩摩藩は大阪に蔵屋敷を三箇所持っていた。この薩摩藩蔵屋敷のことを「薩摩藩上屋敷」と称され、江戸堀あたりに薩摩藩中屋敷が、阿波座の少し下付近に薩摩藩下屋敷がある。

長州藩蔵屋敷跡

江戸時代には諸藩の蔵屋敷が立ち並んでいた。この長州萩藩の蔵屋敷には、幕末動乱に際して、長州に落ちのびる途中の三条実美ら尊王攘夷派の公卿七人も立ち寄ったことがある。

西船場小学校

明治時代初期に設置された小学校を起源としている。1887年には東江（とうこう）小学校と称し、1943年に西船場国民学校へと改称。1947年の学制改革により、大阪市立西船場小学校と改称された。

旧大阪府庁舎跡

この二代目の府庁舎は明治7年完成、造成寮（現財務省造幣局）のイギリス人技師が設計した白亜の西洋館で、府民から「江之子島政府」として親しまれ、昭和20年に戦災により焼失。

京町堀公園

京町堀川跡の碑がある。京町堀川は、大坂の陣後に伏見城下の京町（現・京都府京都市伏見区京町）から当地へ移住した町人によって開削され、当初は伏見堀川とも呼ばれた。

明治小学校

明治時代初期に発足した明治・靱・広教の3小学校を起源としている。終戦直後には休校になっていたが、旧3校の校区をあわせる形で1957年に再開校した。

立売堀公園

大坂冬の陣・夏の陣で伊達氏が堀をつくり陣地を構えていたので伊達堀（だてぼり）と呼んでいたが、「だて」を「いたち」と誤読したことで「いたちぼり」と呼ばれるようになった。後に材木の立売り（たちうり）が許されるようになったので漢字のみ「立売堀」と改められた。

四ツ橋

長堀川と西横堀川が十字に交差した地点に「ロ」の字型に架けられていた4つの橋の総称。



白髪橋交差点

土佐の白髪山から切り出した木材を得るため、ここに木材市場を設けたことによりこの名がつけられた。

新町南公園

1583年9月太閤・豊臣秀吉が大坂城築城を開始。日本全国各地から集められた良質の砂をここに置いたので、この辺りが砂場と名づけられた。人が集まり食事のために、うどんとそば屋が登場した。それが「大坂新町・砂場のそば」で、流れ流れて江戸に渡り、江戸三大そば「砂場」の起源となる。

土佐公園

土佐藩蔵屋敷で、土佐稲荷神社の境内には三菱財閥の創業者で初代総帥の岩崎弥太郎の邸宅跡の碑がある。

和光寺

摂津国八十八箇所第3番札所。和光寺内の阿弥陀池は、信濃国善光寺の本尊となる阿弥陀如来像が捨てられ、また引き上げられた場所。

堀江中学校

1955年花乃井中学校の分校として始まり、1959年に花乃井中学校より分離開校。校舎は、戦災で廃校になった高台（たかきや）国民学校の跡地を転用。

南堀江公園（大阪相撲発祥の地）

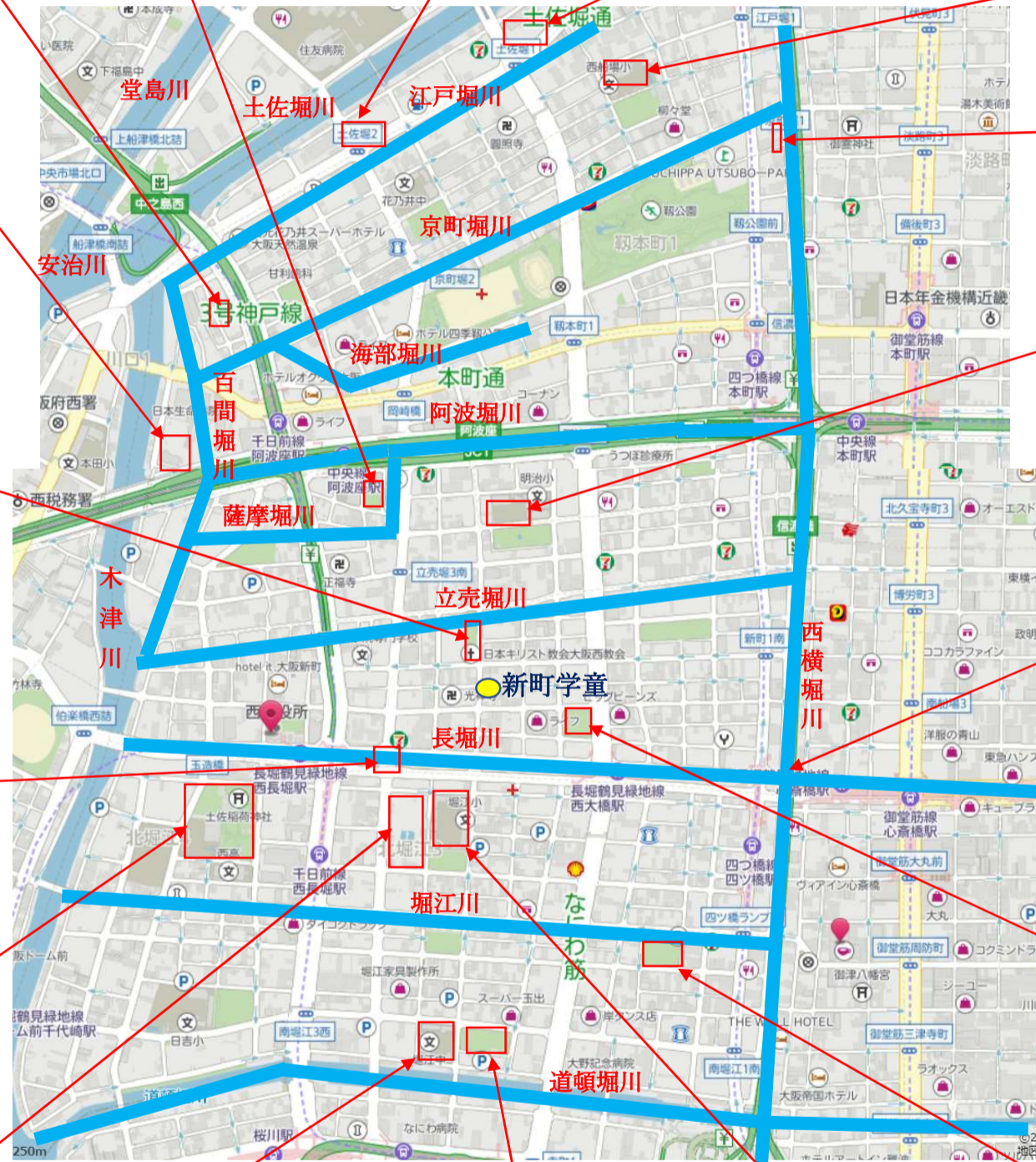
寺社への寄進を目的としない興行的な勧進相撲が大坂の堀江で元禄15年（1702年）に解禁され、以後力士らが勧進元となり全国の力士を大坂へ招いて試合を行うようになった。

堀江小学校

1873年11月1日に和光寺境内に設置。1884年2月29日に堀江・隆平・千代崎の3校が統合し、現在の堀江小学校となる。

堀江公園

堀江川跡の碑がある。堀江川は1698年（元禄11年）に開削され西横堀川と木津川を結んでおり1960年（昭和35年）に埋め立てられた。



ここに記載した情報は、Wikipediaを基本としています。

2020年4月20日作成